

子ども・子育て支援事業需要量算出結果について

(1)利用者支援に関する事業(利用者支援)	…P1
(2)時間外保育事業(延長保育事業)	…P2
(3)－1 放課後児童健全育成事業	…P3
(3)－2 プレディ・放課後子ども広場中央	…P5
(4)子育て短期支援事業(子どもショートステイ)	…P7
(5)一時預かり保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター(就学前)	…P8
(6)乳児家庭全戸訪問事業	…P10
(7)養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業	…P11
(8)地域子育て支援拠点事業(子育て交流サロン「あかちゃん天国」)	…P12
(9)幼稚園預かり保育	…P14
(10)病児保育事業	…P16
(11)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	…P17
(12)妊婦健康診査	…P18

(2)時間外保育事業(延長保育事業)

①ニーズ調査結果から算出した量の見込み

時間外保育事業利用希望者(人)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	86	92	99	103	108
日本橋地域	129	139	152	166	170
月島地域	241	251	262	272	275

②実績 : 認可保育所定員数及び申込者数

京橋地域(区立・私立・京橋こども園)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
延長保育利用定員数(人)	55	53	53	53	63
月極延長保育申込者数(人)	36	34	33	35	42

日本橋地域(区立・私立)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
延長保育利用定員数(人)	40	50	50	70	85
月極延長保育申込者数(人)	32	31	36	34	42

月島地域(区立・私立・晴海こども園)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
延長保育利用定員数(人)	123	133	150	169	189
月極延長保育申込者数(人)	90	91	94	102	113

③課題

保育施設の利用希望の時間帯で18時以降を希望する人の割合を利用意向率として使用しているため、通常保育で足りている人も含まれているのではないかと。18時台・19時台はスポット延長保育の利用も考えられることから、月極で利用する人、月に数日スポット延長を利用する人がいる19時以降の利用希望で集計し直し、19時以降を月極延長保育の利用希望ととらえてはどうか。

また、スポット利用との割合から月極利用の希望を出してはどうか。

(3)－1 放課後児童健全育成事業

①ニーズ調査結果から算出した量の見込み

【就学前児童調査より】5歳児が小学校に上がった時の学童クラブ利用希望者(人)

<低学年(1～3年生)時の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	218	223	233	257	267
日本橋地域	294	315	335	341	393
月島地域	608	649	708	777	771
<高学年(4～6年生)時の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	89	99	102	106	104
日本橋地域	120	130	135	145	153
月島地域	252	266	289	306	333

【小学校児童調査より】小学校児童の学童クラブ利用希望者(人)

<低学年(1～3年生)の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	148	152	159	175	182
日本橋地域	200	215	228	232	268
月島地域	414	442	483	529	526
<高学年(4～6年生)の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	55	60	62	64	64
日本橋地域	73	79	83	89	93
月島地域	154	163	177	187	203

②実績

京橋地域(築地・新川)

各年度4月1日現在

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
定員数(人)	80	85	85	85	85
入所者数(人)	80	85	85	85	85
待機者数(人)	15	9	13	22	3

日本橋地域(堀留町・浜町)

各年度4月1日現在

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
定員数(人)	80	85	85	85	85
入所者数(人)	80	85	85	85	85
待機者数(人)	16	21	16	26	25

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
定員数(人)	255	250	260	270	340
入所者数(人)	250	248	260	270	284
待機者数(人)	23	22	55	62	75

③課題

就学前児童調査については、一般的に利用希望が高いと思われる5歳児の回答をもとに、全学年のニーズを算出する結果となっているため、過大な需要量となっていないか。現在利用している対象である小学校児童の調査の方をニーズとして使用すべきか。

また、「放課後の時間を過ごさせたい場所」として複数回答可としており、学童クラブとプレディを選択した人が比較的多いことが要因で、潜在ニーズを押し上げている。学童のみの希望者のニーズ、学童とプレディを両方選択した人のニーズを分析していく必要があるのではないか。

さらに、潜在的ニーズをより詳細に分析するために、他の設問で、子どもを「祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる」と回答した人のデータや、学童クラブを「今後必要なときに利用したい」と回答した人のデータを勘案する必要があるのではないか。

(3)－2 プレディ・放課後子ども広場中央

①ニーズ調査結果から算出した量の見込み

【就学前児童調査より】5歳児が小学校に上がった時のプレディ利用希望者(人)

<低学年(1～3年生)時の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	283	290	303	334	347
日本橋地域	382	409	435	443	510
月島地域	789	843	919	1,009	1,002
<高学年(4～6年生)時の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	210	232	240	248	245
日本橋地域	282	305	318	340	359
月島地域	591	625	680	719	782

【小学校児童調査より】小学校児童のプレディ利用希望者(人)

<低学年(1～3年生)の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	288	296	309	341	354
日本橋地域	390	418	444	452	521
月島地域	806	861	939	1,030	1,023
<高学年(4～6年生)の希望>	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	127	140	145	149	148
日本橋地域	170	184	192	205	216
月島地域	356	377	410	434	471

②実績

京橋地域(明石・京橋・中央)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
参加登録者数(人)	360	344	353	479	522
1日平均参加人数(人)	68	76	90	95	120

日本橋地域(有馬・久松)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
参加登録者数(人)	223	233	259	484	572
1日平均参加人数(人)	52	65	65	102	136

月島地域(佃島・月一・月二・月三・豊海)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
参加登録者数(人)	1,108	1,119	1,163	1,199	1,270
1日平均参加人数(人)	185	199	189	198	259

③課題

複数回答の中で、学童とプレディを両方希望している人がどれだけいるか、また、プレディのみを希望している人がどれだけいるかを分析していく必要があるのではないか。

(4)子育て短期支援事業(子どもショートステイ)

子どもショートステイ

①ニーズ調査結果から算出した量の見込み

〈パターン1〉「ショートステイを利用した」の回答のみで算出:就学前のみ ※小学校は回答ゼロ

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用希望者(年間延べ人日) 全地域	65	69	73	77	79

〈パターン2〉就学前+小学校(「子どもだけで留守番させた」を含む)の合算

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用希望者(年間延べ人日) 全地域	741	789	844	900	943

②実績

延利用宿泊日数(日)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
生後7日目～2歳 二葉乳児院	5	0	12	8	15
2歳～中3 石神井学園	4	68	63	45	5
2歳～小6 協力家庭	未実施	未実施	0	0	3

③課題

〈パターン1〉の集計については、調査票の回答に就学前児童の利用希望の潜在ニーズを取れる選択肢がなく、「ショートステイを利用した」との回答に基づき算出しているため、利用実績に近い数量となっている。

〈パターン2〉については、国の手引きの方針に基づき、〈パターン1〉の回答に加え、小学校児童で「子どもだけで留守番させた」と回答した人を潜在ニーズとして取っているが、そのうち実際にどれだけの人がショートステイの利用を希望しているかが掴めないため、潜在的ニーズが過大になっていないか。

(5)一時預かり保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター(就学前)

①ニーズ調査結果から算出した量の見込み

利用希望者(年間延べ人日) 全地域	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
就学前児童	124,039	131,209	138,899	146,458	149,279

②実績

一時預かり保育(子ども家庭支援センター、日本橋分室、こども園の実績を合算)

京橋地域

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
一時保育	乳幼児室・幼児室 延利用人数(人)	839	981	1,112	1,288	1,010
緊急保育	乳幼児室・幼児室 延利用人数(人)	未実施	21	2	43	39

日本橋地域

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
一時保育	乳幼児室・幼児室 延利用人数(人)	220	747	1,457	1,942	2,650
緊急保育	乳幼児室・幼児室 延利用人数(人)	未実施	57	40	12	25

月島橋地域

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
一時保育	乳幼児室・幼児室 延利用人数(人)	3,065	3,283	3,410	4,169	2,863
緊急保育	乳幼児室・幼児室 延利用人数(人)	未実施	49	169	27	47

トワイライトステイ

居室別延利用人数(人) 全地域	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
幼児室(2歳から未就学児)	249	165	444	331	331
児童室(小学生)	173	184	242	267	153

ファミリー・サポート・センター事業活動件数(全地域) 就学前・就学後合算

就学前・就学後合算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
活動件数(件)	5,293	5,094	5,622	5,168	3,039

③課題

一時預かり保育、トワイライトステイ、就学前のファミリー・サポート・センター事業といった不定期な一時預かり事業全般をセーフティネットとしてとらえるのが国の方針であり、その利用希望がそのまますべてニーズとして出ているため、量の見込みが過大になっていないか。

また、一時預かり保育は時間単位で利用するため、1日の中で複数の人が利用できるキャパシティがあることから、量見込みの単位である「年間利用延べ人日」を見直す必要があるのではないか。

また、本区においては、これらの事業は個別の施策と位置づけているため、それぞれのニー

ズを把握する必要がある。その場合、セーフティネットとしてとらえているニーズをどのように把握すべきか。

さらに、他の設問で、子どもを「祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる」と回答した人のデータや、「今後必要なときに利用したい」と回答した人のデータを勘案する必要があるのではないか。

(6) 乳児家庭全戸訪問事業

中央区での事業名は「新生児等訪問指導」

※ニーズ調査によらずに推計

実績

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
訪問連絡はがき受理件数 A	1,091	1,237	1,175	1,291	969
訪問件数 B	738	1,162	1,139	1,250	940
訪問率 B/A	67.6%	93.9%	96.9%	96.8%	97.0%

〈需要量設定の方針〉

0歳児人口の推計を需要量としてはどうか。

〈確保方策設定の方針〉

実施体制(訪問人員、その他)を確保方策としてはどうか。

(7) 養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

※ニーズ調査によらずに推計

実績

養育支援訪問件数

京橋地域

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
育児・家事援助(件)	未実施	0	0	0	0
専門的相談支援(件)	未実施	0	0	0	0

日本橋地域

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
育児・家事援助(件)	未実施	90	93	308	35
専門的相談支援(件)	未実施	18	6	16	12

月島地域

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
育児・家事援助(件)	未実施	0	94	19	0
専門的相談支援(件)	未実施	0	16	5	0

個別ケース検討会議・ 実務者会議 開催回数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
	16	15	13	16	8

〈需要量設定の方針〉

需要量見込みは設定しない。(確保方策のみ)

〈確保方策設定の方針〉

実施体制(訪問人員、検討会議・実務者会議開催回数など)を確保方策としてはどうか。

(8) 地域子育て支援拠点事業（子育て交流サロン「あかちゃん天国」）

① ニーズ調査結果から算出した量の見込み

年間利用希望延べ人数(人) (子どものみ)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	22,431	23,766	24,278	24,805	25,363
日本橋地域	33,966	35,189	37,024	40,014	40,779
月島地域	56,585	59,942	63,473	66,746	66,809

② 実績

子育て交流サロン「あかちゃん天国」利用実績

京橋地域(築地児童館)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
乳幼児利用人数(人)	5,770	7,410	7,151	7,303	4,248
保護者利用人数(人)	5,959	7,194	6,729	6,962	4,193

日本橋地域(堀留町児童館・浜町児童館)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
乳幼児利用人数(人)	10,439	11,873	13,958	14,215	10,922
保護者利用人数(人)	9,489	11,272	13,015	13,192	10,329

月島地域(きらら中央・月島児童館・晴海児童館)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
乳幼児利用人数(人)	21,639	23,995	25,300	27,747	22,544
保護者利用人数(人)	20,929	22,697	24,290	26,638	21,982

③ 課題

算出方法

A 家庭類型別児童数 × B 利用意向率 × C 利用意向回数

A: タイプA～Fのすべての家庭類型割合に、0～2歳の人口推計を掛けて算出した児童数

B: あかちゃん天国を「利用している」および「利用していないが今後利用したい」と回答した人の人数を、回答者全体の人数で割った率

C: 以下の3点の年あたり平均利用回数

- ・すでに利用している人が回答した現在の利用回数
- ・すでに利用しており、今後利用日数を増やしたいと回答した人の希望増回数
- ・利用していないが今後利用したいと回答した人の希望回数

・Cで現在の利用回数だけでなく、希望回数すべてを取り込んで算出しているため、需要が過大に出ているのではないか。

・量の見込を箇所数と利用延べ人数で出してはどうか。

利用希望延べ人数÷開所日数÷箇所数＝1箇所1日あたりの利用延べ人数

利用希望者が1日中あかちゃん天国にいるわけではなく、1日の間でも入れ替わりがあるので、延べ人数を最大ニーズ量としても十分対応可能ではないか。

(9) 幼稚園預かり保育

① ニーズ調査結果から算出した量の見込み

1号認定による利用

年間利用希望延べ人日	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	5,297	5,741	6,470	6,922	7,445
日本橋地域	7,694	8,857	10,106	11,099	11,458
月島地域	16,558	16,983	17,405	17,817	18,225

2号認定による利用

年間利用希望延べ人日	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	13,548	14,684	16,548	17,704	19,040
日本橋地域	19,677	22,653	25,848	28,388	29,305
月島地域	42,349	43,435	44,515	45,569	46,612

② 実績

京橋地域(明石幼稚園)

各年度4月当初の人数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
登録利用定員(人)	24	24	24	24	24
登録利用者数(人)	10	16	18	24	22
一時利用定員(人/1日あたり)	6	6	6	6	6
登録利用・一時利用 年間利用件数(件)	3,191	4,283	5,028	4,273	2,880

日本橋地域(有馬幼稚園)

各年度4月当初の人数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
登録利用定員(人)	24	24	24	24	24
登録利用者数(人)	23	23	24	24	23
一時利用定員(人/1日あたり)	6	6	6	6	6
登録利用・一時利用 年間利用件数(件)	4,836	4,938	4,994	5,134	2,998

園舎改修により、25年7月20日～8月31日の間預かり保育未実施

月島地域(月島第一幼稚園)

各年度4月当初の人数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
登録利用定員(人)	24	24	24	24	24
登録利用者数(人)	12	12	17	24	20
一時利用定員(人/1日あたり)	6	6	6	6	6
登録利用・一時利用 年間利用件数(件)	1,462	2,819	3,814	4,279	2,379

③ 課題

・幼稚園預かり保育は、在園児のための子育て支援策であり、通院・介護などの保護者ニーズに応えるための制度であるため、福祉サービスにおける一時預かり事業とは性格を異にするのではないかと。

また、預かり保育実施にあたっては、教育スペースとは別に、新たに園児の午睡スペース

などを確保する必要があり、人口が増加する状況において実施できる園は限られるのが現状である。

- 1号認定での利用希望が最大の潜在ニーズが算出される結果になっている。実施園が限定されている中で、すべての利用希望からニーズを取ると過大になるのではないかと。
- 2号認定による利用については、タイプB(フルタイム×フルタイム)の希望が高く出ており、需要量を押し上げていることに加え、利用意向日数を母親の週当たり就労日数×52週で計算しているため、かなり過大な需要となっている。また、両親フルタイム就労ではほとんど幼稚園に通うことができないため、ニーズとしては取る必要性はないのではないかと。

(10) 病児保育事業

① ニーズ調査結果から算出した量の見込み

年間利用希望延べ人日 (就学前+小学校)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
京橋地域	1,439	1,536	1,637	1,716	1,797
日本橋地域	2,126	2,305	2,513	2,726	2,816
月島地域	4,010	4,188	4,382	4,569	4,614

② 実績

利用延べ人数(人)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
病児・病後 児保育室	京橋地域 ※ 聖路加国際病院附属保 育所 聖路加ナーサリー	31	294	483	541	409
	日本橋地域 さわやか保育園・ 日本橋浜町	333	436	402	472	283
病後児 保育室	月島地域	521	833	934	908	623
	小森小児科医院					

※ 聖路加ナーサリーは平成21年6月から開始。それ以前はポピンズナーサリー京橋で実施。

③ 課題

病児保育がセーフティネットとしての役割を持っており、設問において、仕事を休んで子どもを見た場合でも、「できれば区の病児・病後児保育を利用したい」と回答した人の利用希望日数を潜在ニーズとしてすべて取り込んでいるため、需要が過大に出ているのではないかと。

(11)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

①ニーズ調査結果から算出した量の見込み

【就学前児童調査の5歳児回答より算出】

年間利用希望延べ人日	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
小学校 低学年	6,044	6,410	6,891	7,425	7,728
小学校 高学年	4,742	5,089	5,419	5,725	6,068

②実績(再掲)

ファミリー・サポート・センター事業活動件数(全地域) 就学前・就学後合算

就学前・就学後合算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
活動件数(件)	5,293	5,094	5,622	5,168	3,039

③課題

国の方針は、5歳児が「小学生になったら放課後の時間を過ごさせたい場所として「ファミリー・サポート・センター」を選んだ回答から算出される需要量を子育て援助活動支援事業の潜在ニーズとして設定することとなっている。ただし、本区においては、一時保育的な利用としての本来のファミリー・サポート・センターの需要をとらえ直す必要がある。

(12) 妊婦健康診査

※ニーズ調査によらずに推計

実績

受診件数(全地域)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (11月末)
妊娠届出数 (母子健康手帳交付件数)	1,693	1,785	1,741	2,021	1,304
妊婦健診受診件数 (1回目)	1,529	1,555	1,549	1,800	1,191
妊婦健診受診件数 (2～14回目)	13,948	14,882	14,606	16,873	12,364

〈需要量設定の方針〉

実績に基づき算出した妊婦健診受診件数を需要量として設定してはどうか。

〈確保方策設定の方針〉

実施場所(契約医療機関)、実施体制などを確保方策としてはどうか。